

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立邑久高等学校	
実践者等		丸川 晶久	実践日 令和4年5月(10時間)
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		美術・美術概論(デジタルソフトを使ったポスター制作)	
対象生徒(学年等)		2年次・美術重視モデル選択者	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化 ☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用 ☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化 ☐ その他()	
		家庭学習	
		☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着	
	実践の内容		
○無料描画ソフト「ibispaint アイビスペイント」を活用し、本校「美術重視モデル」の広報用ポスターを制作 ・一人一台端末クロームブックにアイビスペイントをダウンロードして使用 ・指でも描画は可能だが、別売りの専用ペンも購入して活用 ・紙に描いた原画をアイビスペイントで取り込み、原画をベースにレイヤーを重ねる ・ブラシ、塗りつぶし、ぼかし、フィルターなど様々な機能を活用し、仕上げていく ・日頃からスマートフォンのアプリで絵を描いている生徒も少なくなく、アイビスペイントについても生徒は手慣れた様子であった ○評価の規準は以下のとおり ・ソフトの機能を生かした表現ができており、彩色豊かで鮮やか(知識・技能) ・細部まで丁寧に描かれており、完成度が高い(知識・技能) ・画面構成が考えられておりポスターとしての見せ方が上手い(思考・判断・表現) ・印象に残るインパクト、強いメッセージ性がある(思考・判断・表現) ・オリジナリティ、アイデンティティを感じる(思考・判断・表現) ・ソフトの特性を熱心に研究し、より効果的な手法を試そうとする姿勢が感じられる(主体的に学習に取り組む態度)			
【本時と家庭学習との連動】 特になし			

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)